

回復期リハビリテーション病棟での 人工透析のご案内

回復期リハビリテーション病棟で人工透析をはじめました

令和2年4月より

6床1クール開始（火・木・土 PM）
AMはリハビリを行ないます

主治医（内科）
腎臓内科医

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士

リハビリ科医師
その他外来 18科
嚥下専門歯科医

リハビリテーション入院を各職種でサポート致します

歯科衛生士
管理栄養士
薬剤師

臨床工学技士

看護師
介護福祉士

MSW
（医療相談員）

詳しくは 医療連携室 まで お気軽にお問い合わせください
☎ : 047-488-3251

HARMONIC HEARTS
新八千代病院

当院のリハビリテーションの特徴



Cyberdyne ロボットスーツHAL®

各種電気刺激装置

最新医療の動向を注視し、 定評のある先進リハビリ機器を導入

リハビリ医療分野では、テクノロジーの進歩に伴い、先進的な治療機器が次々と開発されています。ロボット療法や麻痺を改善させる機能的電気刺激療法がその例です。業界で高い評価を受けているリハビリ機器を積極的に導入しています。

訓練量の増加に向けた取組み

回復期では、多くの訓練時間を費やした方が、生活動作能力がより改善と言われています。制度上、回復期リハビリ病棟は最大1日3時間まで訓練ができますが、当院では独自のリハビリプログラムを用意し、それ以上の時間の訓練を行うことが可能です。

朝食	朝食	回復期リハビリテーション 2019.10	病棟でも実施！ 余暇時間に 全患者が参加できる活動量向上プログラム ～主治医・認定看護師・セラマネが監修で考案・導入 新八千代病院 千原院 小串 健志 (理学療法士) 上田 佳子 (看護師) 荒井 泰助 (医師)
リハビリプログラム	個別リハビリ		
個別リハビリ			
昼食	昼食		
個別リハビリ	個別リハビリ		
リハビリプログラム	透析		
個別リハビリ			
夕食	夕食		

リハビリスケジュール例

回復期リハビリテーション協会雑誌(2019年10月号)掲載



リハビリ科医師の診察の様子

リハビリ科専門の医師の診察のもと 訓練計画を立案します

リハビリテーションを専門とした医師が診察を行い、訓練の進め方を検討します。先進機器を利用した訓練や装具作製、高次脳機能障害に対する評価や訓練を検討します。

摂食嚥下分野での先進性

飲み込みに問題のある摂食嚥下障害では、多くの専門職の関わりが重要です。当院では、摂食嚥下専門歯科医師、看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士がチームで検査および訓練を行い、高い治療実績をあげています。



嚥下外来の診察の様子

新八千代病院
Shinyachiyo Hospital